

高調波検出継電器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形式	M-2C36	定格電圧	— V cont.	定格周波数	Hz
動作原理	静止形	定格電流	5 A cont.	動作表示器	
準拠規格	JEC-174	整定範囲	L : ~ A	素子型式	MHH-35
制御電圧	DC V		H : ~ A	製造番号	
第3調波以上検出用			LT : ~ s	器具番号	
			HT : ~ s		

試験項目・試験結果

温度

℃

湿度

%

試験項目	試験内容	試験結果
構造検査	外觀・構造・表示事項及び塗装	
絶縁抵抗試験	回路一括・外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐電圧試験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特性試験	（注）下記項目の試験を実施する。	

1. 制御電源開閉

制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

2. 動作値（試験周波数： Hz）

L 整定	A	A	A	A	A	A
動作値	A	A	A	A	A	A
H 整定	A	A	A	A	A	A
動作値	A	A	A	A	A	A
判定基準	各整定値の±10%以内					

3. 動作時間（試験周波数： Hz）

〔I整定：最小，入力：0 → 整定の200%〕

LT整定	最小	最大	HT整定	最小	最大	判定基準
	s	s		s	s	
動作時間	s	s	動作時間	s	s	±10%以内

4. 復帰時間（試験周波数： Hz）

〔I整定：最小，T整定：最大，入力：整定の200% → 0〕

復帰時間		判定基準
L要素	ms	300ms以内
H要素	ms	

5. 周波数特性〔I整定：最小〕（右端の（ ）内は試験周波数を示す。）

イ）整定値の10倍の基本波を印加して動作しないこと。（ Hz）

ロ）整定値の2.5倍の第2調波を印加して動作しないこと。（ Hz）

ハ）第4調波を印加した時の最小動作値は、整定値の0.6~0.8倍の範囲となること

（ Hz）

承認	作成